

環境省がすすめる

デコ活

とは？

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動

国は、2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けて、国民・消費者の行動変容、ライフスタイル変革を強力に後押しするため、新しい国民運動「デコ活」を展開中。

脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像・絵姿をご紹介するとともに、国・自治体・企業・団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押し。

脱炭素の実現に向け、暮らし、ライフスタイルの分野でも大幅なCO2削減が求められます。



しかし、国民・消費者の行動に具体的に結びついているとは、まだ言えない状況です。



1 例えば10年後など、脱炭素につながる将来の豊かな暮らしの全体像、絵姿をお示します。



2 国、自治体、企業、団体等で共に、国民・消費者の新しい暮らしを後押しします。



国際的にも（G7・G20等において）、

- ・我が国から製品・サービスをパッケージにした新しいライフスタイルの提案・発信
- ・官民連携によるライフスタイル・イノベーションの国際協調を提案・発信



国内での新たな消費・行動の喚起とグローバルな市場創出・マーケットインを促します。

脱炭素につながる新しい豊かな暮らしの実現に向けた国民の行動変容、ライフスタイル転換のうねり・ムーブメントを起こすべく、新しい国民運動を開始し、世界に発信。



まずはここから始めよう！

デ 電気も省エネ 断熱住宅
コ こだわる楽しさ エコグッズ
カ 感謝の心 食べ残しゼロ
ツ つながるオフィス テレワーク

脱炭素につながる **新しい豊かな暮らしの10年後**

太陽光発電
年5.3万円
災害時にも使える

住宅の断熱化
(窓・屋根・壁・床)
年9.4万円
ヒートショック防止

高効率給湯器
年3.5万円

はかり売り・自動決済
年3時間
好きなものを好きなだけ

LED照明
年3千円
年0.4時間

省エネ家電
(冷蔵庫・エアコン・HEMS)
年2.8万円

ごみの削減・分別
年4千円

節水
(キッチン・洗濯機・シャワー・トイレ)
年1.6万円

クールビズ・ウォームビズ
年4千円

地産地消・食べきり
年9千円

テレワーク
年6.1万円
年275時間

持続可能なファッション
例：トロフィーガイド
機会がある方はみんなまで

公共交通・自転車・徒歩
年1.2万円

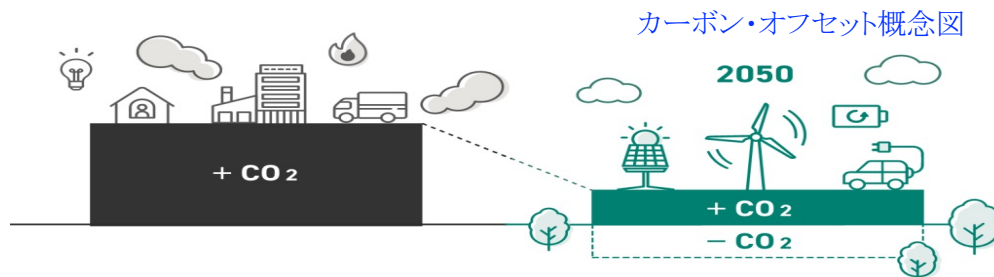
次世代自動車
年7.5万円
自動運転で年323時間
給油不要なら年2時間

毎月3万6千円浮きます (年43万円)
一日プラス1時間以上を好きなことに (年388時間)

<特集>

J-クレジットとは

J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂等の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。



本制度により創出されたクレジットは、経団連カーボンニュートラル行動計画の目標達成やカーボン・オフセットなど、様々な用途に活用できます。



＜特集＞ J-クレジット

J-クレジット創出者のメリット

▼ J-クレジットでできること



省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用により、ランニングコストの低減や、クレジットの売却益、温暖化対策のPR効果が見込めます。

クレジット売却益



設備投資の一部を、クレジットの売却益によって補い、投資費用の回収やさらなる省エネ投資に活用できます。

地球温暖化対策への取り組みに対するPR効果



自主的な排出削減や吸収プロジェクトを行うことで、温暖化対策に積極的な企業、団体としてPRすることができます。

新たなネットワークの構築



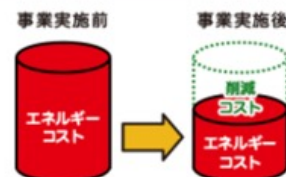
創出したクレジットが、例えば、地産地消的に地元で縁の深い企業や地方公共団体に利用されるなど、新しいネットワークの構築につながります。

組織内の意識改革・社内教育



J-クレジット制度に参加することで、省エネの取組みが具体的な数値として見える化でき、メンバーの取組み意欲向上や意識改革にもつながります。

ランニングコストの低減



省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの活用により、ランニングコストの低減や、クリーンエネルギーの導入を図ることができます。

J-クレジット購入者のメリット

環境貢献企業としてのPR効果

クレジットの購入をとおして、日本各地の森林保全活動や中小企業等の省エネ活動を後押しすることができます。

企業評価の向上

温対法・省エネ法の報告への活用や、各種企業評価調査等においてクレジット購入をPRすることで企業評価につなげることができます。

製品・サービスの差別化

製品・サービスに係るCO2排出量をオフセットすることで、差別化・ブランディングに利用可能です。

J-クレジットとCO2排出権取引の違い

CO2排出権取引制度とは、各国や企業でCO2の排出枠を設定して、余った分と足りない分を取引する仕組みでJ-クレジットと異なります。J-クレジットは日本国内のみの取引仕組みで、排出権取引は国家間での広い枠組みという違いがあります。



NPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会

SCNの活動

進めております「島原カーボンニュートラルコンテスト2023!」ですが、学生の部が11月30日に締め切りとなり、下記日程で審査会を開催しました。

島原カーボンニュートラルコンテスト2023!学生の部審査会

開催日時:2023年12月1日 午後4時～

会場:島原市杉谷公民館

< 審査員 >

- ・主催の島原カーボンニュートラル推進協議会から2名
- ・共催の島原市役所市民部環境課から2名
- ・共催の島原市教育委員会から2名

< 審査部門 >

- ・ポスター小学生の部===市長賞1作品、金賞1作品、銀賞1作品
- ・ポスター中学生以上の部===市長賞1作品、金賞1作品、銀賞1作品
- ・提案書の部===市長賞1作品、金賞1作品、銀賞1作品



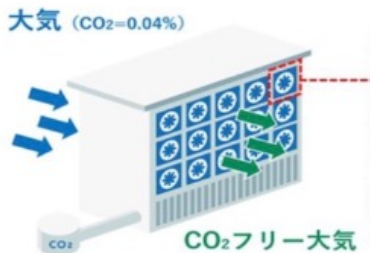
審査の様子

表彰式は2023年12月25日(月)午前10時30分～島原市役所二階会議室で行われます。表彰者の作品および応募者全員の作品(電子化し、集合成形したプリント物)は表彰式の後1ヶ月間、島原市役所ロビーに掲示し、市民に公開されます。

また、表彰式後、表彰者の作品を含んだ全員の応募作品を島原カーボンニュートラル推進協議会のホームページで公開します(ネット公開分は実名ではなくイニシャル掲示)

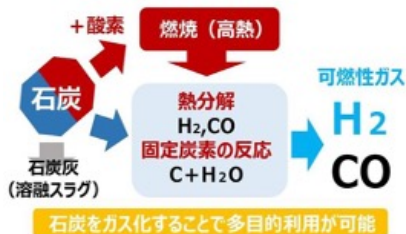
<最近のトピックス>

・日本ガイシ、微細な「穴」で自動車の排ガスからCO2を吸着／回収技術



日本ガイシは自動車の排ガス中の二酸化炭素を吸着／回収する用途でのセラミック基材や、二酸化炭素の再利用を可能にするサブナノセラミック膜を開発した。

・資源エネルギー庁、石炭から次世代エネルギーの水素を



真源エネルギーでは石炭として利用できない安価な褐炭から水素を生み出すプロジェクトが進行しています。

・二酸化炭素を爆食いするバクテリア



ワイル・コーネル医科大学とハーバード大学医学部の細菌専門家チームは、シチリア島近くの火山島の海岸沖で二酸化炭素を「驚くほど早く」食べるバクテリアを発見した。

このバクテリアは、他のもっとも効率的な微生物よりも22%多くのバイオマスを生み出すことが明らかになったとのことで、今後の研究が注目される。

・雲仙市、廃材など利用「木質バイオマスボイラー」施設が完成



雲仙市では廃材などを燃料とした「木質バイオマス」のボイラーが新たに導入されました。これまでの重油のボイラーからの転換で年間およそ290トンの二酸化炭素の削減につながると見込まれています。

・長崎市が長崎県初の「脱炭素先行地域」に環境省が認定



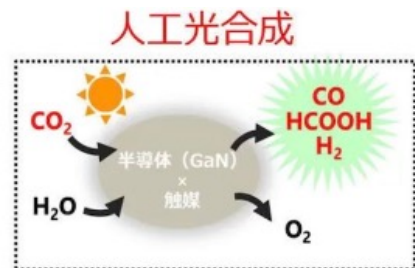
環境省は2023年11月、脱炭素先行地域に長崎市の伝統的建造物が並ぶ東山手・南山手地区と、稲佐山からの夜景をつくり出す施設群を選定しました。

・科学者たちが指摘する救世主『ホワイト水素(天然水素)』とは？



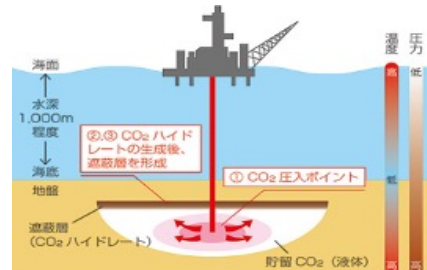
大量の水素は工場ではしか製造できないと考えられていましたが、2018年にマリで純度98%の天然水素ガス井戸が発見され、これがホワイト水素と呼ばれ、世界で探掘ラッシュが訪れようとしています。

・NTT「人工光合成」世界最長350時間の連続動作達成



NTTは作製した半導体光触媒を用いた人工光合成で、世界最長となる350時間の連続動作を達成した。これは樹木(スギ)の木1本が1平方メートル当たり約1年間で固定する二酸化炭素(CO₂)を上回る量に相当する。

・JパワーCO2地中貯留の新技术を考案



電源開発株式会社「Jパワー」は、ハイドレートメカニズムを利用した新たな二酸化炭素(CO₂)地中貯留技術を考案した。本技術でCO₂地中貯留の「適地」が拡大し、貯留可能性を増大させることが期待されるとのこと。

・広島県坂町、二酸化炭素を吸収する海の植物「アマモ」小学生が種まき



二酸化炭素を吸収する海の植物「アマモ」が今、地球温暖化対策として注目されています。広島県・坂町の小学校ではアマモの種をまく活動が行われました。

NPO法人島原カーボンニュートラル推進協議会の運営は、活動を応援して下さる個人や企業、団体の寄付やご協賛によって行われます。会の趣旨をご理解頂き、協賛・参加等の応援で、カーボンニュートラルで実現する素晴らしい島原の未来をご一緒に実現しましょう

◆協賛会員：【島原市役所】【長崎三菱自動車(株)島原支店】【(株)福栄】【林田建工】
【フラワーハウスきむら】【(株)ナカムラ広芸社】【(株)INTERMEDIA】

